

## 令和 2 年度・3 年度 館山市地域公共交通網形成計画に係る施策の実施状況

## 基本方針 1 市街地における回遊性の向上（重点）

## 施策の方向性 1 市街地内及び地域間をつなぐ公共交通の機能強化

## 市街地循環バスの導入と既存バス路線の見直し

- ・令和 2 年度・3 年度とも、**市街地循環バスの実証運行**を実施。令和 4 年度は通年での実証運行を行い、本格運行へつなげたいと考えている。
- ・既存バス路線（館山市内線、洲の崎線）の見直しについては、行政と事業者での協議は実施したものの未着手。

## 施策の方向性 2 鉄道駅や交通結節点の機能強化

## 館山駅各施設の利便性向上（駅前広場の再整備や待合空間整備等）

- ・**民間による館山駅前の空き施設利活用に向けた動き**などが出ている状況。
- ・行政としても、館山駅東口の再整備に向けた配置等の検討を始めたところ。  
集客施設等におけるバス待ち環境の整備

- ・未着手。

## 館山駅における鉄道・バス等との接続改善

- ・交通事業者により、JR 内房線や亀田病院行き路線バスとの接続改善が行われている。
- ・抜本的な接続改善には、全乗り入れ路線のダイヤ見直しが必要。

## JR 内房線の無人駅の利活用

- ・市役所内部で、那古船形駅舎の利活用に関し、若手中堅職員からなるプロジェクトチームを立ち上げ、**利活用方策の検討を重ねているが、動き出しには至っていない**。
- ・コロナの状況が落ち着けば、令和 4 年度に小規模なイベントを実施し、反響を確認したいと考えている。

## 基本方針 2 隣接自治体との広域的な連携の推進

## 施策の方向性 3 南房総市と一体となった公共交通ネットワークの機能強化

## 平群線・丸線の見直し

- ・令和 2 年度・3 年度とも、見直しの方向性を検証するため、南房総・館山地域公共交通活性化協議会にて**丸線・平群線再編に向けた実証運行**を実施。

## 白浜千倉館山線の見直し

- ・未着手。

## 高速バスの活用とパークアンドライド駐車場の整備

- ・高速バスの安房郡内相互間の利用を可能とする仕組みについては、南房総・館山

地域公共交通計画にも位置付けているが、検討が進んでいない状況。

- ・パークアンドライド駐車場の整備については、船形バイパスの進捗に合わせ、鏡ヶ浦クリーンセンターの活用等を検討していく。

### 基本方針 3 主な公共交通空白地域における地域主体の交通システムの構築（重点）

#### 施策の方向性 4 地域が関わる新たな交通システムの導入

住民ニーズに応じた豊房線再編見直しの実施

- ・令和 4 年度以降、南房総・館山地域公共交通活性化協議会の事業として豊房線エリアの実証実験等を展開したいと考えている。
- ラストワンマイル対策のための新モビリティ導入検討
- ・**富崎地区において、地域住民組織により、グリーンスローモビリティを用いた「富崎ぐるっとバス」の実証運行が行われた。**また、**西岬地区においても、ジェイアールバス関東及び東京大学が主体となり、観光客をメインターゲットとしたグリーンスローモビリティの実証運行が行われた。**
- ・富崎地区においては、地区住民向けアンケートや利用者からの声を踏まえ、令和 4 年度から、一般車両を用いた「富崎ぐるっとバス」の運行を地元住民組織により行う予定となっている。（総務省の「集落支援員制度」を活用予定）
- ・令和 3 年度、南房総・館山地域公共交通活性化協議会の事業として、**神戸地区を中心とした「買い物シャトルサービス」の実証運行を実施中である。**
- 自動運転車両の導入研究
- ・未着手。

### 基本方針 4 観光二次交通の整備・確保（重点）

#### 施策の方向性 5 沖ノ島や海岸沿いのアクセス確保

グリーンスローモビリティの活用による鏡ヶ浦回遊ルートの設定

- ・未着手。
- ・タクシー事業者の取組として、令和 3 年度、**安房地域内の駅や宿泊施設からタクシーで観光地を周遊できる「南房総タクシー旅プラン」の実証実験が行われた。**  
（観光庁補助事業）

#### 施策の方向性 6 既存路線の観光客対応

洲の崎線の土休日一部便の観光周遊バス化

- ・令和 2 年度当初から、**運行事業者の取組として「南房パラダイス～相の浜」間の運行が復活し、観光客の回遊性が向上した。**
- ・事業者により、館山・南房総エリアが舞台となったアニメ「**戦翼のシグルドリーヴァ**」のラッピングバス運行や洲の崎線、市内線、南房州本線を対象とした路線

バスのフリー乗車券が販売された。(市のコロナ対策補助金を活用)

- ・ジェイアールバス関東の一般路線バス車両の一部に、**自転車を積載できるサイクルラックが設置**された。(一部は市のコロナ対策補助金を活用)
- ・他に計画に掲げた「観光客の荷物を貨客混載で運ぶ取組」については未着手。

## 基本方針 5 高齢者等支援制度の確立

### 施策の方向性 7 高齢者等の外出支援推進

高齢者等、自家用車が使えない人が気軽に外出できる環境づくりの推進

- ・計画に掲げた「タクシー運賃の補助」「日用品移動販売の検討」「公共交通のメリット周知」については未着手。
- ・運転免許返納者向けの施策については、令和 2 年度に、既に交付を受けた人も含めたタクシーチケット又はバス回数券の追加交付を行った。(通常、市内共通商品券・タクシーチケット・バス回数券のいずれか 5,000 円分を交付しているところ、5,000 円分のタクシーチケット又はバス回数券を追加交付)

## 基本方針 6 公共交通を利用しやすい環境の整備

### 施策の方向性 8 キャッシュレス化の推進

バスやタクシーにおける交通系 IC カードや QR コード決済等の導入

- ・タクシーについては、事業者の取組として、QR コード決済やクレジットカード等キャッシュレス決済への対応が完了した。
- ・バスについては未着手だが、令和 3 年度の市街地循環バス実証運行において、QR コード決済「PayPay」を導入。令和 4 年度も導入する予定である。

### 施策の方向性 9 分かりやすい運賃制度の導入

ゾーン制など、分かりやすいバス運賃体系の導入

- ・ゾーン制の検討については未着手。
- ・利用促進を図るため、スマートフォン等で購入できる「定額チケット」(有効期間を複数設定)の販売を南房総・館山地域公共交通活性化協議会にて検討中。

### 施策の方向性 10 ユニバーサルデザインの導入

バスやタクシー車両のバリアフリー化促進

- ・事業者の取組として、車両入れ替え時等にノンステップ・ワンステップ車両に置き換わっている状況。

案内表示等の多言語化推進

- ・案内表示等の多言語化は未着手。
- ・事業者の取組として、鉄道や路線バス、高速バスにおける案内表示や案内放送の多言語化が進められている。

### 施策の方向性 1 1 公共交通に関する情報発信の強化

#### Google Map 等におけるバス・鉄道時刻等の情報発信強化

- ・事務局にて調査したところ、鉄道のみならず市内バス路線の情報が Google Map に搭載され、バス路線も含めた経路検索が可能となっている。
- ・令和 2 年度の市街地循環バス実証運行においては、Google Map をはじめ、経路検索サービス事業者に提供するデータ（標準的なバス情報フォーマット「GTFS-JP」）を整備し、Google 社に提供・情報掲載してもらうとともに、市ホームページにオープンデータとして情報掲載を行った。

#### MaaS に関する取組着手

- ・未着手。

#### ②南房総市と連携したバス路線マップの製作

- ・南房総・館山地域公共交通活性化協議会事業として実施を検討しているが、現在路線の見直し検討を始めている状況である。作成後の大幅修正等の手戻りを防ぐため、一定の方向性が出た後に製作に着手したいと考えている。

### 施策の方向性 1 2 公共交通の通学利用促進

#### ②通学時の公共交通・スクールバス活用推進

- ・小中学生の通学時路線バス利用促進やスクールバスの混乗化については、学校現場や保護者の考え等を尊重する必要があるとあり、進んでいない。
- ・高校生に向けては、市内 3 高校の新生を対象に、公共交通利用を呼び掛けるチラシを配布しているところ。

## 基本方針 7 公共交通により親しんでもらうための施策展開

### 施策の方向性 1 3 モビリティ・マネジメントの実施

#### ③官公庁でのノーマイカーデーの実施

- ・未着手。

#### ④公共交通利用のメリットに関する市民への普及活動実施

- ・市ホームページへの掲載や市広報（不定期）への情報掲載を通じ啓発活動を行っているが、まだまだ不十分な状況。

### 施策の方向性 1 4 家族で公共交通に親しめる施策の実施

#### ⑤家族で楽しめるバスや鉄道の乗り方教室の開催

- ・コロナ前はバス事業者によるイベント等が開催されていたが、令和 2 年度・3 年度はコロナの影響でイベントが開催できていない。
- ・乗り方教室については、ジェイアールバス関東の取組として、令和 3 年度、西岬小学校の児童を対象とした乗り方教室が開催された。

#### ⑥ファミリー向け割引制度等の導入

- ・未着手。